

天理よろづ相談所学園 同窓会会報 憩の仲間

2022年（令和4年）8月20日
第2号

発行：天理よろづ相談所学園同窓会

「天理よろづ相談所学園同窓会」の今後

天理よろづ相談所学園同窓会会長
市村 輝義



既にご存じのように来年(2023年)4月から「天理大学」に「天理医療大学」が統合され、「天理大学医療学部」(仮称)としてスタートすることとなっています。それに伴い「天理よろづ相談所学園同窓会」も「天理大学ふるさと会(校友会)」への加入に向け、昨年(2021年)の11月から打ち合わせ会議を始め、今まで5回ほどの会議を行ないました。

「天理大学ふるさと会」は、天理大学およびその前身であった天理外国語学校、天理女子学院などの卒業生をもって組織されている同窓会です。現在約35,000名の会員をもち、国内のすべての都道府県および海外にも10カ所の支部を結成しています。また、「ふるさと会」は、2024年のふるさと会設立90周年、2025年の天理大学創立100周年および創設者(二代天理教真柱)生誕120年を迎えるにあたり、その節目の活動のために、「天理大学ふるさと会機構改革検討委員会」と「記念事業推進委員会」を立ち上げました。その前者の委員会に私と中村事務局長が参加し、会則の改正を中心に、組織や運営等について、今年10月の最終答申に向け、話し合いが行われています。これらの会議の主な進捗状況について報告致します。

現在、「天理よろづ相談所学園同窓会」会員(卒業生)は、約5,000名で、連絡可能な同窓生は約3,500名となっています。今の処、連絡が不可能な卒業生も含めた令和5(2023)年3月までの全卒業生を「ふるさと会」校友会員として登録を致します。入会金は必要

ありません。しかし、令和7年3月以降の卒業生に関しては、ふるさと会会則に則り、20,000円の納入(卒業時)が必要となります。また、入学時に納入する会友費(20,000円)については、令和5(2023)年4月の入学生から徴収されることになると思います。

次に活動の形態ですが、前述したように、今までの「ふるさと会」は、都道府県(一部外国)を中心とした支部会が活動の拠点になっています。新会則では活動形態が多岐に亘ることになると思われます。新しい支部会組織形態を、(1)地域支部(同じ地域に在住する会員)、(2)職域支部(同一職域・同業種・同職種に従事する会員)、(3)学部・学科会支部(それぞれの会員)、(4)サークル支部(それぞれの会員)とし、(1)~(4)の支部会を設立することができ、複数の支部会へ入会することも可能となると思います。今の処、本同窓会を「天理大学ふるさと会医療学部支部」(仮称)とし、「ふるさと会」の新会則の発足(2023.4.1)と同時にスタートさせたいと考えているところです。

これから、昨年10月に発足した本同窓会の会則を検討し、支部会則としての新たな会則を立案し、「ふるさと会」の組織の一員としての立場を明確すると共に、活動の方針や方法等を考えていかなければなりません。これからも、この会報誌『憩の仲間』や本同窓会のホームページを利用して状況をお伝え致します。

メールアドレス(tenriyorozeu.univ.alumni@gmail.com)を通して、皆様のご意見を多くお寄せ下さい。宜しくお願い致します。

皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。

2022.7.1記

(注)進捗の情報については、まだ、審議中で最終的なものではございません。

お問い合わせ：天理よろづ相談所同窓会事務局
〒632-0018 奈良県天理市別所町80-1 天理医療大学内
事務局長 中村 彰宏 (tenriyorozeu.univ.alumni@gmail.com)

特定行為研修について

看護部長 青山 弘子
特定行為研修室主幹 堀畑 佐知子

特定行為研修制度は、2015年10月に創設された制度である。厚生労働省も2次医療圏の1カ所の指定研修機関の設置および2025年には約10万人の特定行為看護師の育成を目標に掲げ普及に努めています。

当院は、急性期医療を提供する基幹病院です。地域医療を支える役割も担っていることから自施設および地域医療のニーズに応える人材の育成を目指し、特定行為指定研修機関の申請に至りました。

2021年2月、特定行為研修指定機関として承認され 同年4月に特定行為研修が開講となりました。

特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力、判断力、高度かつ専門的な知識および技能の向上を図るための研修です。

研修時間は、共通科目250時間、区分別科目16時間～63時間（選択コースにより時間が異なる）

開講初年度は、創傷管理、カテーテル管理、在宅・慢性期、専門・認定看護師基本コースを受講する4名の院内研修生でした。

研修、実習内容その他特定行為研修の特設サイトを設け当院のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

2022年3月28日には、閉講式および修了証授与式を開催されました。研修生4名が無事に修了しました。

今後は、現場でのタイムリーな活動と人材の育成および医療の質向上に期待しています。



南棟2階特定行為研修室での研修



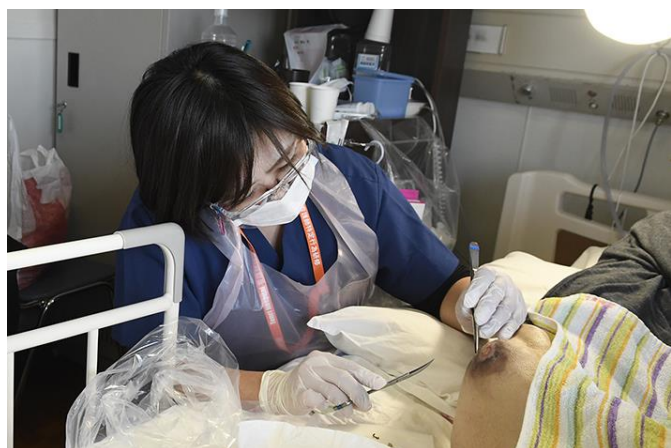
特定行為研修実習前の技術レクチャー
(中心静脈栄養カテーテル抜去)

特定行為研修修了 第1期生

在宅世話どりセンター 沼澤 和実看護師長（第2看護学科25期生）

臨床経験の中で得た知識や技術を基盤とし、特定行為看護師として必要な高度な知識や技術を学び直すことができました。

今後は、看護を基盤に特定行為を含めた質の高い医療・看護を提供できるよう自己研鑽に努め、各部署で特定行為看護師としての役割を発揮し、憩の家に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。



特定行為研修 実習 ①



特定行為研修 実習 ②

病理診断部(病理組織細胞診検査室を含む)が本館6階に移転

天理よろづ相談所学園同窓会 部会担当理事 木寺 英明

会報名が「憩の仲間」と決定され、会員の共通項である「憩の家」に関する情報を会員にもお伝えしたいと思い、情報を集めてみました。

最新情報ではないのですが、憩の家将来計画による本館・南病棟再編に伴い、病理診断部(病理組織細胞診検査室を含む)が南別館2階から本館・南病棟6階(旧ICU)に移転されました。具体的には平成30(2018)年2月から旧ICUの解体に着手され、令和元(2019)年12月に工事が完了、同月14日、15日に移転作業が行われ、同年12月16日に使用を開始されました。

臨床検査技師教育において、専門科目に位置付けられている「病理組織細胞学」の病院での実習場所として、多くの同窓会員がお世話になりました。天理よろづ相談所病院(別名:憩の家)が開所された昭和41(1966)年には、本館7階の研究所がある場所で病理組織検査業務が行われ、昭和58(1983)年11月に南別館2階へ移転され、そして令和元(2019)年12月16日からは南病棟6階に移転されました。

私自身の経験では学生時の病院実習は本館7階で実習させていただき、天理よろづ相談所職員となり学校教員として病院実習で学生がお世話になった頃は、南別館に移転されていました。今回の移転は定年退職後ですので、噂では何度か移転の話は聞いていましたが、どこに移転され、どのように変わったかという関心は非常に高かったです。

南別館2階にある頃は、職員や学生であれば誰でも検査室への入室は可能であったため、病理担当教員であった私は、よ

く病理組織検査室へ足を運んでいた記憶があります。しかし、今回の移転先へは定年退職後のことで、用事もないのに行って仕事の邪魔になってはいけないという気持ちで、移転後の病理検査室に行けなかったのですが、見学したいという願望は持ち続けていました。そんな折、天理医療大学の病理検査学実習に非常勤講師として学生の指導にいられていた、京都大学附属総合解剖センターに勤務されている阿比留 仁さん(天理医学技術学校16期卒業生)に、移転された検査室を是非見学したいということをお打ち明けしました。彼もすぐに賛同してくれたので、検査室へ見学の許可を得て、昨年(2020)の12月ようやく見学することができました。

移転先の検査室を見学させてもらった時の感想は、以前の場所より照明が明るく感じ、見通しもよくなって、広くなったと感じました。それと共に、以前の病理組織検査室ではホルマリンやキシレン等の有機溶媒の匂いを感じていましたが、今回は局所排気装置が備わり、匂いは全く感じませんでした。病理受付、切出室、迅速標本作製室を見学させていただき、滑走式マイクロームが複数台置かれた薄切室と包埋室、遺伝子検査室、細胞診断室、討議室、病理診断室も見せて頂きました。以前との大きな違いは、パラフィン自動分注包埋センターや自動染色装置が設置されている点で、まるで生化学検査室かと思うくらい雰囲気が異なっていました。時代の変化と共に検査室が変わっていくのは当然なのですが、この新しい検査室で病院実習ができる天理医療大学生が羨ましいとも感じました。

病理診断部の住吉部長、小橋先生、検査室の案内をいただいた坂本主任をはじめ検査室の皆様には、業務時間内にお邪魔することもあり、お忙しい時の貴重な時間を同窓会からの取材に応じて頂き、厚く御礼申し上げます。病理診断部並びに病理組織細胞診検査室の今後益々の御発展を祈念いたします。



移転後の病理組織細胞診検査(憩の家月報に掲載された写真)



自動染色装置が設置された場所



滑走式マイクロームが並ぶ薄切室

部会同窓生の「今」

「新同窓会に思うこと」

天理医療大学同窓部会員
天理医療大学 臨床検査学科 1期生
まえだ耳鼻咽喉科クリニック
杉田 美咲緒



私の職場は、月平均1,600人の患者が来院する単科診療所です。診療所において臨床検査技師が勤務するケースは少ない上、現在の職場に検査技師は私一人だけです。業務内容は顕微鏡検査、尿定性、感染症迅速検査、聴力検査、呼吸機能検査、血圧測定、心電図、補聴器適合検査、採血、また医師に医療器具などを渡したりする診察補助も行っています。

当院で働いて感じた“診療所の利点”は、検査後のフィードバックが早いことです。例えば、目眩（めまい）の患者さんの聴力検査を行った後、医師がどのように検査結果を患者さんに説明し、どういう治療を行うのかを聞くことができます。この時、自分が出した

検査結果がどのようにして治療の材料となっているのかを勉強することができ、医師との距離が近いので、追加検査の提案も気兼ねなくできます。

しかし、働くうえで不安なこともあります。それは先輩技師がいないので検査に対する相談相手がいないことです。小さな診療所なので、少数スタッフで日々の診察業務を回していくことに必死なため、外部の情報に疎くなり、他に頼れて話せる検査技師がいる同期たちが羨ましく思うこともあります。新型コロナウイルスが流行し始めてから同期に会うこともなくなり、益々心細い想いです。そんな私が今の先輩・同期・後輩の現況を知れるのは、この新同窓会だと思っています。在校生による母校の現況、全国各地で活躍されている同窓会会員の情報などを提供していただける新同窓会。SNSの発信もあるとのことなので、益々気軽に閲覧することができます。外部から孤立している私にとって、新同窓会誌を読むことで励まされるし、私も頑張ろう！もっと自身を鼓舞する事ができるのではないかと思っています。新同窓会から元気をもらい、今後も日々精進していきたいと思えます。

天理医療大学同窓部会員
天理医療大学 看護学科 3期生
滋賀医科大学大学院医学系研究科
大坂 真子



私は天理よろづ相談所病院で看護師として勤務後、大学院に進学し看護研究を学んでいます。研究というと白衣を着て行う実験などを想像する方もおられるかもしれませんが、私は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分布を明らかにする「疫学研究」というものをメインで学んでいます。

特に、私は整形外科で勤務をしていたので整形疾患を持つ集団の将来的な予後を規定する要因に興味があり、その要因と予後との関連を検討するために日々研究に取り組んでいます。看護研究とは、日々の看護業務の中で生まれる疑問や状況を科学的に明らかにしていくものです。研究には答えや終わりがないので、毎日やっているときや辛くなる時や苦しく感じる時もありますが、臨床で出会った患者さんの顔や姿を思い返して、なんとか今後の整形看護に貢献できる研究がしたいと日々奮闘しています。

私は幼い頃から看護師という職業に惹かれ、看護師を目指しました。看護学生として学んだ4年間では、私たちが看護師として関わる患者さんは同じ疾患を抱え

ていても1人1人が異なる「個人」であり、個別性のある看護を行う必要性と重要性について深く学びました。実際、臨床で勤務をしている時は1人1人をよく観察し、目と心に向けた看護が実践できるように心がけて働いていました。しかし今、大学院生として「集団」を対象にした看護研究を学んでいることで、これまでの「個人」に目を向けた個別性のある看護に加えて、看護師として「集団」にも目を向けていく必要性について感じています。

集団に目を向けていくことや、看護師として看護研究を行うことで、目に見えない部分も多い看護をより科学的な根拠を持って提供できることや、そこから生まれる新しい看護の知見や発展につなげられるなど、看護師という専門職としてますます専門性を発揮できるようになっていくのではないかと思います。特に、現在のようなパンデミックが続いている現状において、世界中の小児から高齢者、健康な人から疾患を抱えて生活している人まで多くの「集団」の健康状態が変容している可能性が大いにあります。大学院卒業後は看護師として勤務するのかわ、研究者として研究を続けていくのかについてまだ未定な状況ではありますが、どちらの道に進んだとしても「個人」にも「集団」にも目を向けられる看護師であるよう、今後も頑張っていきたいと思っています。

天理医療大学の現況

天理医療大学 臨床検査学科 4 回生
学生自治会長
島 寛朗



天理よろづ相談所学園同窓会会報第2号が発行されるにあたって、学生を代表して、天理医療大学の現状を書かせて頂きます。

天理大学との合併が決まり、天理医療大学も残すところ最後の1年となった今でも、約3年前から猛威を振り続けてきた新型コロナウイルスの影響は相変わらずであり、私たちの学生生活に大きな影響を及ぼしています。講義は、今もなおZoomによる遠隔授業が併用されており、生徒の姿が少ない教室からは、どことなく静けさと寂しさが感じられます。

オンラインという環境は悪いことばかりではなく、慣れてしまえばとても便利なものです。4年生が現在行っている国家試験対策グループワークでは、場所と時間の縛りがなくなり、家から気軽に参加することが可能となっています。また、登下校するための時間を課題や勉強、趣味など有意義に活用することができるようになりました。

また、学内実習及び病院実習においては、学内教職員の皆様、天理よろづ相談所病院職員の皆様の、多大なる尽力を賜り、有難いことに、今では、感染拡大前とほぼ同等の環境で実施することができています。

最後になりましたが、同窓会会員の皆様には、日頃から学校生活の上にお心寄せ頂き、誠にありがとうございます。この天理医療大学最後の年に、開学初の両学科国家試験合格率100%を達成し、お世話になった皆様へ恩返しできるよう日々努めたいと思いますので、今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



天理よろづ相談所学園同窓会会計報告 (2022. 3. 31現在)

< 収入内訳 >

名目	金額
天理看護学院同窓会 繰越金	¥2,440,485
天理医学技術学校同窓会 繰越金	¥731,195
天理医療大学同窓会 繰越金	¥4,071,934
ホームページ・名簿管理システム 準備金残金	¥500,338
利子	¥5
収入総計	¥7,743,957

< 支出内訳 >

日付	名目	備考	金額
2021/9/14	郵送切手		¥140
2021/11/25	カラー封筒 100部		¥2,190
2021/11/30	カラー封筒 9箱 (500枚/1箱)		¥53,460
2021/11/30	プリンターインク 1個		¥5,905
2021/12/3	会報誌印刷費 (プリントバック) 4500部		¥33,210
2021/12/8	テープ・スティックのり 25個		¥5,845
2021/12/9	プリンターインク 5個	会報誌発行	¥4,830
2021/12/9	郵送 (レターパック)	および	¥370
2021/12/10	ラベルライター(手数料込)	郵送関連	¥3,220
2021/12/16	コクヨテープのり ドットライナー詰め替え		¥2,343
2021/12/16	コクヨテープのり ドットライナー本体		¥2,867
2021/12/16	コクヨテープのりドットライナー詰め替え2個		¥4,480
2021/12/16	コクヨテープのり ドットライナー本体 3個		¥702
2021/12/20	天理医療大学同窓会会報誌 郵送代		¥444,240
2021/12/22	QUOカード(手数料込)		¥12,990
2022/3/16	ホームページ・名簿管理システム費	2022年度分	¥13,200
支出総計			¥589,992

天理よろづ相談所学園同窓会会計

宮野 成久

2021年度収支結果

¥7,153,965

監査報告

天理よろづ相談所学園同窓会設立時の会計報告を監査した結果、誤り無く妥当であることを報告いたします。

天理よろづ相談所学園同窓会監事

西口 見里

下村 大樹

新同窓会ホームページ情報！

天理よろづ相談所学園同窓会は、同窓会員への情報提供や求人情報掲載など同窓会活動を円滑かつ簡略に運営するため、新同窓会ホームページ (<https://tenriyorozu-u-alumni.com/member/public/>) を開設しました。これにともない、同窓会統合以前の天理医療大学、天理看護学院および天理医学技術学校同窓会の過去の会報誌も全て閲覧可能です。

また、本ホームページ上マイページでは、同窓会会員間における[相互リアルタイム求人情報掲示板](#)を運営しております。もし、同窓会員のご勤務されている御施設で「是非天理の卒業生に就職してほしい」などがございましたら、是非ご活用ください。

[特に定年退職者の求人情報にご活用](#)いただければ幸いです。

【★重要★】同窓会会費納入のお願い（天理医療大学同窓生の皆様へ）

天理医療大学同窓生の皆様は、在学中に同窓会会費として1万円（終身会費）を納付いただくこととなっております。もし、まだ未納の方がおられましたら、同窓会事務局 (tenriyorozu.univ.alumni@gmail.com) までお問い合わせください。詳細は本ホームページ上の「同窓会費」ページをご参照ください。会費未納の方は本ホームページ上マイページに登録いただいても、全てのサービスを受けることができません。何卒ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【★重要★】名簿管理システムへの登録のお願い

天理よろづ相談所学園同窓会設立に伴い、名簿管理をシステム化することとなりました。つきましては、今後は新ホームページおよびマイページからの情報配信となりますので、必ずシステムへの名簿登録のほどお願いいたします。ご不明な点は同窓会事務局 (tenriyorozu.univ.alumni@gmail.com) までお問い合わせ下さい。

【登録手順】

1) 天理よろづ相談所学園同窓会ホームページ (<https://tenriyorozu-u-alumni.com/member/public/>) にアクセスしていただきます。GoogleやYahooサイトで「天理よろづ相談所学園同窓会」と検索していただいてもヒットします。

2) 右丸部分の「ログイン」をクリックしていただく。

3) 右の画面が表示されたら下記BASIC認証をご入力ください。このBASIC認証は随時要求されますので、必ずお控えください。

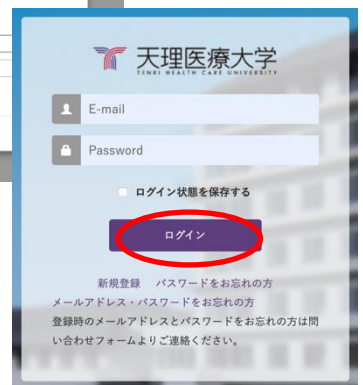
ユーザー名：tenri

パスワード：tenrialumni2021

（※このユーザー名およびパスワードは関係者以外には絶対漏洩のないようにお願いいたします）

4) 右画面「新規登録」からE-mailアドレスおよびパスワードを設定し、ご登録ください。

なお、パスワードをお忘れの方は下記「パスワードをお忘れの方」をクリックいただき、パスワードの再設定をお願いいたします。



編集後記

天理よろづ相談所学園同窓会の会報誌である「憩の仲間」創刊号を昨年12月に発行し、今回第2号を8月に発行しました。会員の皆様からは、そんなに張り切って今後持続可能な活動が維持できるの？という声が聞こえてきそうです。これには理由がありまして、来年4月から天理大学となるため、「憩の仲間」という会報誌名が創刊号だけの発行で終わってしまうのは心苦しかったからです。会員の皆様の中には、この同窓会の今後を心配されている方々が大勢おられると思いますので、その情報発信は欠かせないと考えています。上記同窓会事務局までお気軽にご意見よろしくお願い申し上げます。（木寺）